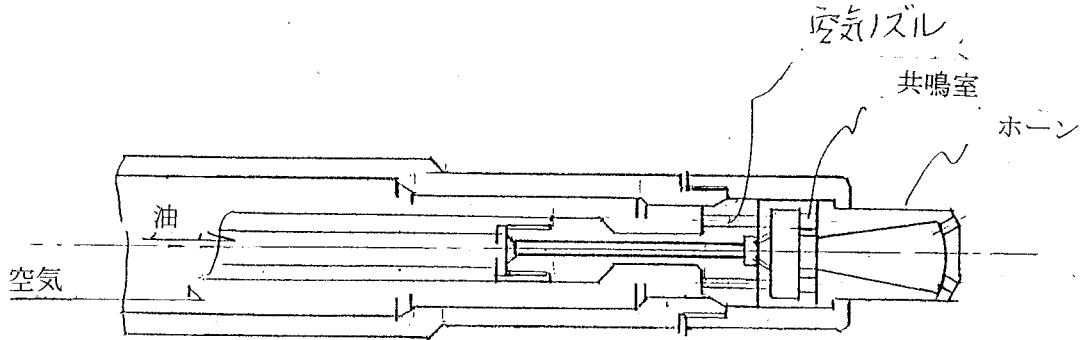


## メインバーナ

### バーナの保守点検と整備

#### 1. 機構

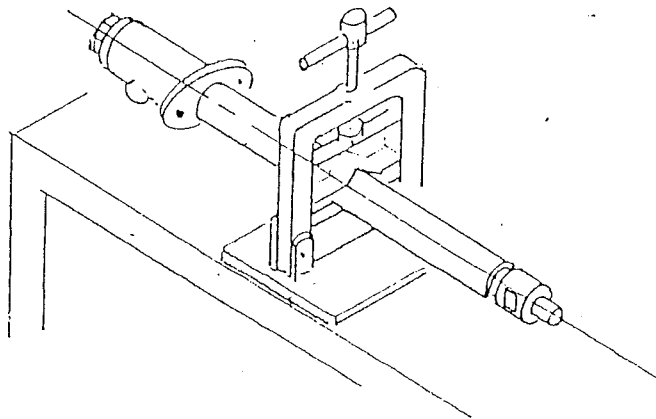
添附図に示すようにパイプラインより供給される燃料油及び霧化用高圧空気又は蒸気はバーナボディで燃料油はインナチューブ内へ高圧空気（蒸気）はインナチューブの外側を通過してソニックゼネレータに至ります。



ソニックゼネレータ内に於いて空気ノズルより音速以上で噴射された空気は共鳴室内に到達し高速空気の噴気構造によって超音波を発生します。この音場内での気体粒子は高周波数に励振されているためこの音場内を通過する燃料油に衝撃、圧縮、膨脹が反復されて燃料油の自爆作用を起こします。急速にエマルジョン化された燃料油は超音波エネルギーと共にホーンを通過して燃焼室内へ噴射され超音波エネルギー独特の数々の有利性を発揮します。

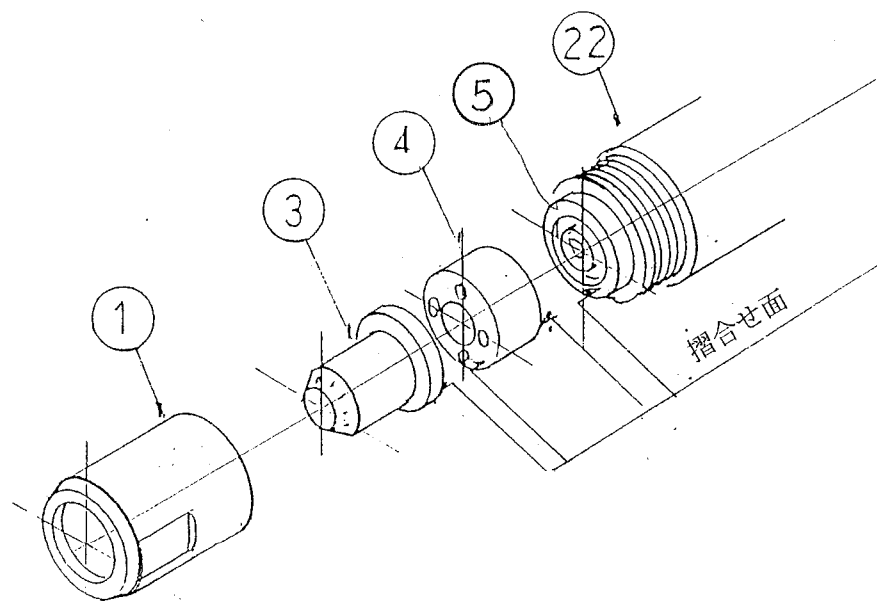
#### 2. バーナの分解及び組立

分解、組立はバーナ作業台又はバイス台に固定して行います。

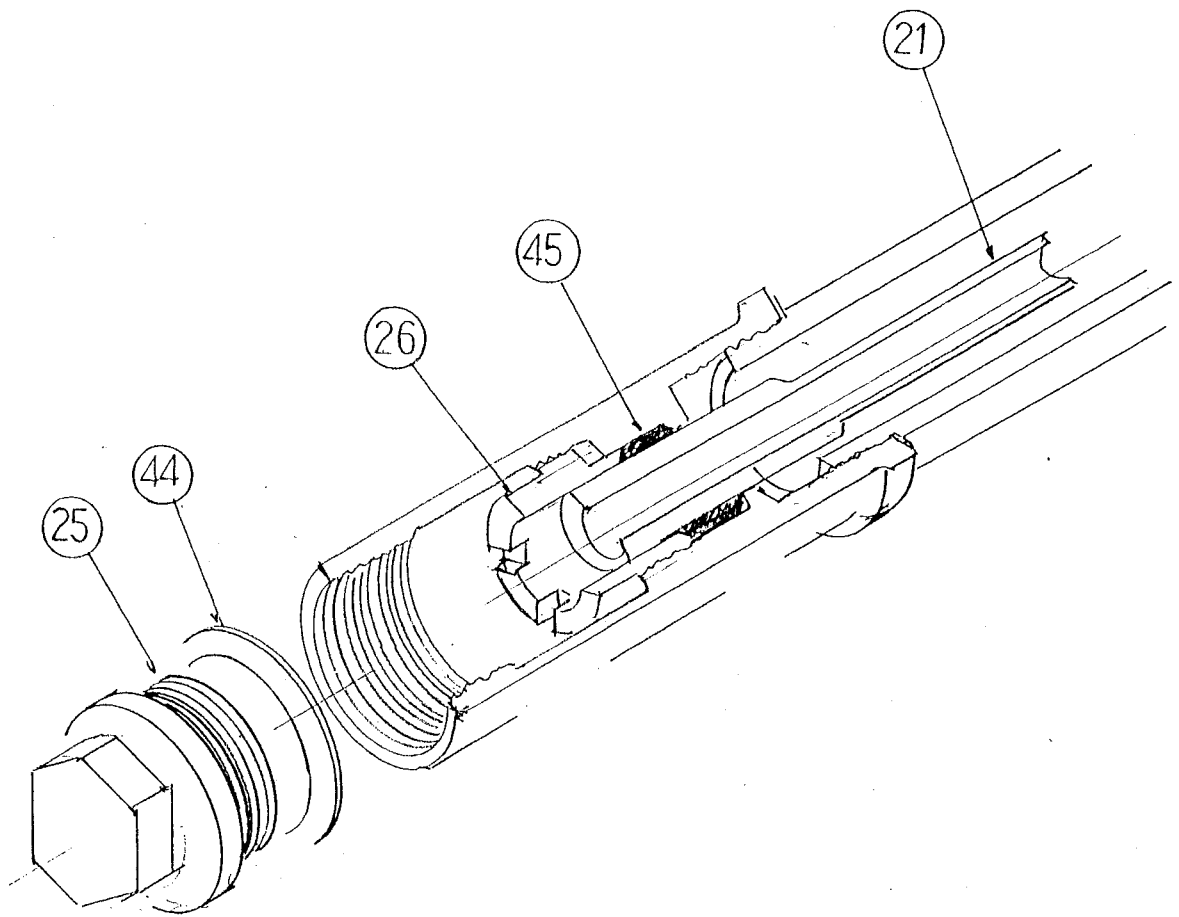


### 3. ノズルの清掃

- (1) キャップ①を左にまわしてゆるめます。
- (2) ホーン③とソニックゼネレータ④ジスタンス⑤の摺合せ面にキズをつけぬように注意してキャップの中から取出します。
- (3) 洗淨油（灯油）で内部外面を清掃して下さい。摺合せ面は絶対金属で磨かないで下さい。ホーン③ソニックゼネレータ④ジスタンス⑤の摺合せ面にキズがある場合はラッピング粉#200で摺合せをして下さい。



- (4) 組立は分解の逆に行ってください。  
摺合せ面に薄くグリスを塗りキャップ①の中にホーン③ソニックゼネレータ④を納めてからアウターチューブ ②にキャップ①をねじ込みスパナでしっかり締め付けて下さい。



2. グランドパッキンの交換

キャップ①を外します。

尾栓(25)を左に回して外します。グランドパッキン押え(26)を左に回して外します。

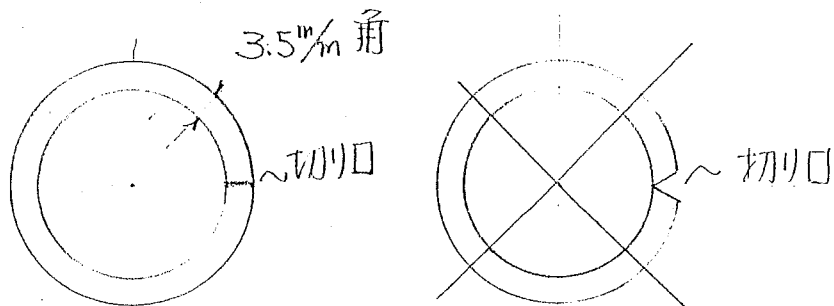
インナチューブ(21)をノズル側に押引抜きます。

古いグランドパッキン(45)を除去します。ディスタンスとアウターチューブ(22)の当り面(擦合せ)を清掃してインナチューブをアウターチューブの中に納めます。

ノズル関係を取付けます。

グランドパッキンを下記の寸法形状に加工して挿入して下さい。

バーナボディ形式	パッキン内径	使用数	パッキン材質
30	1.9mm	4~5	バルクV-1110 相当
50	2.6mm	5~6	バルクV-1110 相当



パッキンは、図のように正確に鋭利な刃物で切断し潤滑材を塗布して下さい。

切口が 180° づつづれるように交互に一枚一枚納めて下さい。

グランドパッキン押えをねじ込んで締付け尾栓(25)を尾栓パッキンをつけて取付けて下さい。